

全国学力・学習状況調査結果（正答率）

年度		小6国語	小6算数	小6理科	中3国語	中3数学	中3理科	中3英語
R5	町	72	58	-	71	46	-	33
	県	68	62	-	71	52	-	46
	全国	67.2	62.5	-	69.8	51	-	45.6
R4	町	69	59	56	67	50	46	-
	県	67	64	65	70	52	49	-
	全国	65.6	63.2	63.3	69	51.4	49.3	-
R3	町	69	69	-	52	48	-	-
	県	65	69	-	65	57	-	-
	全国	64.7	70.2	-	64.6	57.2	-	-
R2	新型コロナのため、実施なし							
R元	町	70	72	-	75	56	-	60
	県	64	66	-	73	59	-	56
	全国	63.8	66.6	-	72.8	59.8	-	56
H30	町	67 51	61 47	54	75 57	68 47	65	-
	県	71 54	62 50	59	75 61	65 47	65	-
	全国	70.7 54.7	63.5 51.5	60.3	76.1 61.2	66.1 46.9	66.1	-
H29	町	80 58	81 48	-	73 72	61 48	-	-
	県	75 57	76 45	-	76 72	63 48	-	-
	全国	74.8 57.5	78.6 45.9	-	77.4 72.2	64.6 48.1	-	-

県学調 学力分析データ（伸ばした児童生徒の割合）

（ ）内は県	長瀬第一小	長瀬第二小
国語 小5	54.5(80.2)	50.0(80.2)
算数 小5	51.5(67)	37.5(67)
国語 小6	53.1(77.7)	80(77.7)
算数 小6	43.8(57.7)	50(57.7)

（ ）内は県	長瀬中
国語 中1	57.4(60.5)
数学 中1	40.4(58.9)
国語 中2	28.8(58.8)
数学 中2	75(62.6)
国語 中3	46.2(55.6)
数学 中3	43.6(65.2)
英語 中3	61.5(68.7)

令和5年度長瀬町小・中学校教職員

学力向上のための共通テーマ

- ①ねらい (課題提示の工夫)
- ②学び合い (比較や折り返し等)
- ③まとめ (みんなで)
- ④振り返り (自分なりの学び)

令和4年度埼玉県及び全国学力・学習状況調査結果を受けての重点取組に係る今後の計画

長瀬町教育委員会
指導主事・土屋 智治

1 令和4年度(学調後)に実施した重点取組と効果の考察

<p>【授業改善】 ○各校の効果的な取組の共有化(町学力向上推進委員会や授業研究会などを通して) ○「学力向上のための共通テーマ」(1単位時間のねらいや課題の提示、児童生徒の学び合い、まとめ、振り返りを行うという授業展開) ○町独自の若手教員対象チャレンジ研修(主に一人一授業実践公開を通して指導主事・学校教育指導員が授業づくりのポイントを伝える。) ○皆野町との「スクラム教師塾」(各学校の支援担当訪問時の授業を、広く関係町内の教職員にも公開し、参観教職員の意識啓発と指導力を高め、もって児童生徒の学力向上を図る。)</p> <p>【家庭・地域との連携】 ○中学校の定期テスト前学習期間に合わせて行う「家庭学習重点期間」の運用の見直し、各校の取り組み方や取組カードの共有 ○地域や保護者と連携・協力して学力向上(各校から学力向上だより等を発行し、学力学習状況調査の結果や対策等を周知、啓発)</p>
--

2 令和5年度の取組

(令和4年度埼玉県及び全国学力・学習状況調査の結果等を受けての重点取組に係る振り返り及び今後の)

時期	実施を計画している内容
4月	・授業改善(指導主事訪問)
5月	・授業改善(指導主事訪問)
6月	・授業改善(指導主事訪問) ・第1回町学力向上推進会議(取組の共有、進捗状況確認、学調の活用方法研修)
7月	・授業改善(指導主事訪問) ・休業日中の課題用ワークを配布する。
8月	・各校で全国学力学習状況調査の問題を解き、分析・活用を行う。

※8月後半、県学調、全国学調結果返却予定

時期	実施を計画している内容
9月	・各学校(校長、学力向上推進担当)に各学力調査の結果の分析・活用を依頼する。 ・授業改善(指導主事訪問)
10月	・校長会議、教頭会議において、各学年、学級についての分析結果を共有する。 ・第2回町学力向上推進会議を開き、各学力調査の結果の分析・活用を共有し、今後の対策を考える。 ・授業改善(指導主事訪問)
11月	・朝学習を効果的に活用する。 ・「中学生学力アップ教室」を開催する。(～2月まで) ・各学校で学力向上だより等を発行する。
12月	・冬季休業中の課題として、全国学調過去問や復習シート、コバトン問題集を活用する。
1月	・冬季休業中の課題について解説をする。 ・授業改善(指導主事訪問)
2月	・本番と同じ時間で全国学調の過去問に取り組ませる。 ・第3回町学力向上推進会議を開き、今年度の成果・課題を共有し、次年度の計画を立てる。 ・授業改善(指導主事訪問)
3月	・休業日中の課題用ワークを配布する。 小6については、小中連携の一環として中学校で評価する。